



平成27年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ワキタ

コード番号 8125 URL <http://www.wakita.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 脇田 貞二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員

(氏名) 小田 俊夫

TEL 06-6449-1901

四半期報告書提出予定日 平成27年1月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第3四半期の連結業績(平成26年3月1日～平成26年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第3四半期	44,066	8.7	6,746	10.4	6,905	10.5	4,223	2.0
26年2月期第3四半期	40,554	11.2	6,113	43.3	6,250	43.0	4,143	62.2

(注) 包括利益 27年2月期第3四半期 4,523百万円 (4.2%) 26年2月期第3四半期 4,340百万円 (73.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第3四半期	81.22	—
26年2月期第3四半期	83.46	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第3四半期	111,736	81,084	72.6
26年2月期	105,130	77,862	74.1

(参考) 自己資本 27年2月期第3四半期 81,084百万円 26年2月期 77,862百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	0.00	—	25.00	25.00
27年2月期	—	0.00	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の連結業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	57,500	6.8	8,500	8.0	8,500	5.5	5,200	0.4	99.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年2月期3Q	52,021,297 株	26年2月期	52,021,297 株
② 期末自己株式数	27年2月期3Q	15,362 株	26年2月期	14,302 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年2月期3Q	52,006,175 株	26年2月期3Q	49,639,304 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成26年3月1日～平成26年11月30日）におけるわが国経済は、政府による機動的な財政支出や日銀による金融緩和政策の継続により、緩やかな回復基調を辿っておりましたが、4月の消費税増税や夏場に続いた想定外の自然災害により、個人消費が大幅に落ち込み、海外におきましても欧州や新興国での景気の下振れ懸念や地政学的リスクの台頭等により、景況感は先行き不透明な状況が続きました。

こうした状況のもと、当第3四半期連結累計期間の業績は主力事業である建機事業が全体を牽引し、売上高は440億66百万円（前年同期比8.7%増）、営業利益は67億46百万円（前年同期比10.4%増）、経常利益は69億5百万円（前年同期比10.5%増）となりました。ただ、四半期純利益は投資有価証券売却益の減少等により42億23百万円（前年同期比2.0%増）と微増に止まりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 建機事業

建機事業の販売部門は、期初における消費税増税前の駆け込み需要や小型発電機その他の周辺機器の販路拡大に注力したことや資産機の入替に伴う売却が功を奏した結果、売上高は前年同期を上回りました。また賃貸部門におきましても政府予算執行の遅延や機械回りの人材不足という課題はありましたものの、全国的に展開された国土強靱化、防災・減災関連事業の捕捉に注力した結果、前年同期を上回る売上高を計上することができました。

その結果、建機事業全体の売上高は308億85百万円（前年同期比11.3%増）、営業利益は50億57百万円（前年同期比15.6%増）となりました。

② 商事事業

商事事業は、遊戯関係設備のファイナンス案件の増加が他の分野での伸び悩みを補い、売上高は増加しましたが、競争激化により利益率は低下しました。

その結果、商事事業全体の売上高は102億23百万円（前年同期比2.8%増）、営業利益は4億32百万円（前年同期比16.7%減）となりました。

③ 不動産事業

不動産事業の賃貸部門は、過去数年にわたり新規物件の購入がなかったことにより、ほぼ横這いで推移しましたが、戸建分譲等の販売部門は前年同期を上回りました。

その結果、不動産事業全体の売上高は29億57百万円（前年同期比3.3%増）、営業利益は12億56百万円（前年同期比3.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ66億5百万円増加し、1,117億36百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加16億67百万円、受取手形及び売掛金の増加19億51百万円、有価証券の増加19億49百万円等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ33億84百万円増加し、306億52百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加22億56百万円等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ32億21百万円増加し、810億84百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加29億23百万円等によるものであります。

以上の結果、自己資本比率は72.6%、1株当たり純資産額は1,559円14銭となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年2月期の連結業績予想につきましては、平成26年4月4日の決算発表時に公表いたしました連結業績予想から現時点では変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,157	25,824
受取手形及び売掛金	21,451	23,402
有価証券	2,999	4,949
商品	2,135	2,021
貯蔵品	50	39
その他	792	689
貸倒引当金	△307	△374
流動資産合計	51,279	56,552
固定資産		
有形固定資産		
貸与資産（純額）	7,746	8,229
賃貸不動産（純額）	32,145	31,798
土地	4,083	5,048
その他（純額）	2,942	2,671
有形固定資産合計	46,917	47,748
無形固定資産	472	421
投資その他の資産		
投資有価証券	5,565	6,104
その他	1,038	1,049
貸倒引当金	△142	△138
投資その他の資産合計	6,461	7,014
固定資産合計	53,851	55,184
資産合計	105,130	111,736
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,991	13,248
未払法人税等	1,970	1,219
賞与引当金	169	19
その他	4,392	5,282
流動負債合計	17,523	19,770
固定負債		
退職給付引当金	93	131
役員退職慰労引当金	972	937
その他	8,678	9,813
固定負債合計	9,744	10,882
負債合計	27,268	30,652

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,821	13,821
資本剰余金	16,627	16,627
利益剰余金	48,931	51,855
自己株式	△15	△16
株主資本合計	79,365	82,287
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	500	799
土地再評価差額金	△2,003	△2,003
その他の包括利益累計額合計	△1,502	△1,203
純資産合計	77,862	81,084
負債純資産合計	105,130	111,736

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
売上高	40,554	44,066
売上原価	29,630	32,415
割賦販売未実現利益繰入額	388	385
割賦販売未実現利益戻入額	304	378
売上総利益	10,840	11,644
販売費及び一般管理費	4,727	4,898
営業利益	6,113	6,746
営業外収益		
受取利息	60	61
受取配当金	72	60
為替差益	73	33
その他	75	78
営業外収益合計	282	233
営業外費用		
支払利息	68	74
遅延損害金	51	-
その他	25	0
営業外費用合計	145	74
経常利益	6,250	6,905
特別利益		
固定資産売却益	4	0
投資有価証券売却益	352	13
特別利益合計	356	14
特別損失		
固定資産除却損	0	1
特別損失合計	0	1
税金等調整前四半期純利益	6,605	6,918
法人税、住民税及び事業税	2,470	2,712
法人税等調整額	△7	△17
法人税等合計	2,462	2,695
少数株主損益調整前四半期純利益	4,143	4,223
四半期純利益	4,143	4,223

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,143	4,223
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	197	299
その他の包括利益合計	197	299
四半期包括利益	4,340	4,523
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,340	4,523

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建機事業	商事事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	27,743	9,948	2,862	40,554	—	40,554
セグメント間の内部 売上高又は振替高	52	28	—	81	△81	—
計	27,795	9,977	2,862	40,636	△81	40,554
セグメント利益	4,374	518	1,220	6,113	△0	6,113

(注) 1 セグメント利益の調整額△0百万円は、たな卸資産の調整額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成26年3月1日 至 平成26年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建機事業	商事事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	30,885	10,223	2,957	44,066	—	44,066
セグメント間の内部 売上高又は振替高	77	19	—	96	△96	—
計	30,962	10,242	2,957	44,163	△96	44,066
セグメント利益	5,057	432	1,256	6,746	0	6,746

(注) 1 セグメント利益の調整額0百万円は、たな卸資産の調整額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。